



「周囲の建物への配慮」

敷地北西に建物をL字型に配置することで既存建物からの
圧迫感を軽減し、広い園庭を確保する計画とした。
敷地周囲を緑化することで、プライバシーを確保すると共に、
園児の自然体験の遊び場となるよう配慮した。

「自然光を取り入れた明るい園舎」

積極的に南側に開口部、トップライトを
設けることで明るく快適な室内環境を確保した設計とした。

「安心・安全に配慮したプラン」

先生と園児達の間を空間計画の中で最優先し、
園児と身近に関わることが出来る位置に職員室を配置した。
また、低年齢児童の登園、降園に配慮し、できるだけ近い距離に
駐車場を設け、防犯面・安全面に配慮した設計とした。

「人にやさしい環境づくり」

外部は耐久性、耐候性に配慮した仕上材とし、
内部は木材を多用し温かみのある室内として計画した。